

マネージメント情報

※冬季間の長靴の保管例

私が担当させていただいている農場の長靴の保管場所の様子を紹介します。
ポイントがいくつかあります。

1. 施設の仲(処理室)に入る前に長靴がある
2. 保温機能付…底にサーモスタット付のパネルヒーターがついています。
3. その上の波ボタンが水切りの効果と空気層ができる事によってその分熱効率が上がる
4. 上にも断熱材を敷いて熱効率を上げている



そのような理由で、いつも長靴には①臭いにつかず、②ゴミが入らず、③常に乾燥していて、特にこれからの冬季間はありがたいのですが④暖かく、気持ち良く農場の長靴に履き替えることができます。

※TPPについて思うこと

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP: Trans-Pacific Partnership)は2006年5月にシンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4ヶ国加盟で発効した経済連携協定。加盟国間の経済制度、即ち、サービス、人の移動、基準認証などにおける整合性を図り、貿易関税については例外品を認めない形の関税撤廃をめざしている。

環太平洋経済協定、環太平洋連携協定、環太平洋パートナーシップ協定とも呼ばれる。別名、自由貿易の優等生と例えられる。Wikipediaより抜粋

昨日仕事が終わった後お客さんとこの話題で小一時間お話をしました。

農業団体は、すぐ反対!!!という行動をするけれども(勿論それも必要)それと同時にただ「協定に参加することは壊滅的な影響を受けてしまう」というのではなく、日本と海外の農業(酪農)のおかれている状況の違いや、なぜ日本の農産物の価格が高コストになってしまうのか、消費者が声高に叫び、望むところの世界に類のない食の安心安全がどれほどの意味があり農業の高コスト体質に影響しているのか、etc…、その現実と矛盾について訴える良いチャンスなのにそのような行動は全くみられません。

同じ土俵での勝負なら何とでもなるでしょうが、CO2の排出の問題や酪農関係でいえば、日本では認められていない遺伝子組み換え飼料や動物由来の飼料、薬品(ワクチン・BST)を大手を振って使用している牛から生産される乳製品が輸入されるという矛盾。

その他にポジティブリストの義務づけや BSE 検査等……。様々な手枷足枷があります。世界の流れとしては自由化、協定の参加に向かっている事はみなさんとお話をしていても殆どの方が認めているところです。みなさんいずれそうなるだろうと言います。その中で、国家間の法律を含めた条件の違いを考えいつまでも経済界が勝手にいうところのお荷物的な立場に甘んじず、正々堂々とお天道様の下で議論し乗り切っていきたいモノだと思っています。

※ T@P セミナーの開催について

最終回第4回目の T@P セミナー(雇用セミナー)は来年 1/28(金) 10:00-15:00 の予定で別海町交流センター「ふらと」で開催することになりました。雇用問題でお悩みの方はとても多くいらっしゃいます。一人で悩まずに某かのヒントがあるはずですので、是非参加して下さい。

-
- ・ あっという間に今年も残すところ一ヶ月と少し...になってしまいました。昨年と比べて乳価のダウンが財布を直撃しています。15年ぶりの円高水準になっているにもかかわらず、今後の飼料の値上げや資材の高止まりが来年の経営にも大きく影響していくことが考えられます。でも酪農はまだまだ宝物の宝庫だと信じています。いつもいう事ですが農場のまわりにはまだまだ気がつかないだけで、気づこうとしないだけで本当に沢山の宝物があります。その宝物を一緒に探していきたいと思っています。
 - ・ 私の診療車(ランクル80)の走行距離数の写真です。H7年の8月~足かけ15年とちょっとで483,674Kmになりました。



目標は 500,000Km!!! 来年の春には大台に到達できそうです。若い頃はモデルチェンジする度に新しい車を欲しくなりましたが。アメリカの獣医師が平気で30万キロ以上走ったトラックに乗って仕事をしている事を知り、私も大事に車に乗らなければ...と思い今日に至っています。大台に乗ったら密かにお祝いしようと思っています。